

ガス施設は地下のガス管ですべてつながっているよ！ガス管は、全長約600km！習志野市から青森市の距離と同じくらいあるんだよ！



市の花：アジサイ



茜浜供給所

ガス供給所

習志野市の供給所は藤崎・茜浜・東習志野にあり、ここからガスを供給しているよ！



ガスホルダーとは

ガスをあまり使われない時間帯に一時的にためる施設のことで、ガスホルダーの内側は高い圧力がかかっていて、この圧力に強く耐えることに最も適している丸い形になっています。また、すべての供給所にガスホルダーが設置されていて、このガスホルダーから圧力を調節する装置(地区整圧器)を経由して各家庭や学校などに都市ガスが供給されています。



東習志野供給所



市の木：アカシア



藤崎供給所

供給所の役割

供給所は、受入所から送られてくる都市ガス(13A)をガスホルダーにためて、ガスが必要とされる量に合わせてガスを各家庭や学校などに供給する施設です。

ガスが必要とされる量は季節や気温で大きく変わるので、企業局の職員が24時間体制で見守り、各家庭や学校などに供給しています。

通称ガバナと呼ばれ、市内に
51か所設置されているよ！



地区整圧器（ガバナ）

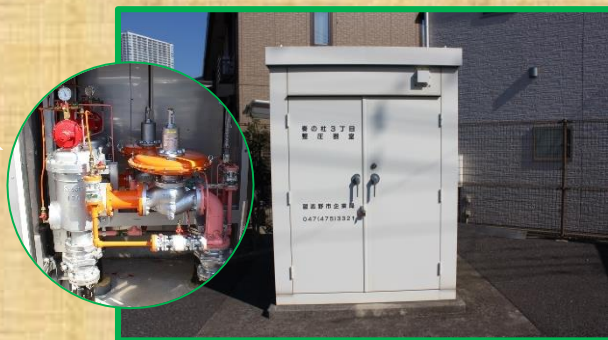
ガスホルダー

地区整圧器（ガバナ）の役割

受入所と供給所間は、高い圧力になっています。高い圧力のガスは、そのままの圧力で各家庭や学校などに送ると火力が強くなりすぎて事故の原因になります。

そこで、地区整圧器（ガバナ）という装置を経由させることで、安全に使用できる低い圧力に変えて各家庭や学校などに供給しています。

中はこんな
感じだよ！



圧力の違い

ガス施設同士で都市ガスを送る場合の圧力は、地区整圧器を経由して各家庭へ送る場合の120倍以上の圧力があります。ガスは力を加えて圧縮することで体積が小さくなり、高い圧力に変わります。これは、気体が高い圧力と低い圧力の差が大きいほど流れやすくなる特性を利用し、短い時間でたくさんの量を送れる工夫がされています。



茜浜供給所

- ・高さ：約20m
- ・最大容量：32,000m³×2基
家庭一件の約177年分

藤崎供給所

- ・高さ：約17m
- ・最大容量：16,000m³
家庭一件の約44年分



東習志野供給所

- ・高さ：約15m
- ・最大容量：10,000m³
家庭一件の約27年分



市内に供給する都市ガスが
最初に入ってくる施設だよ！



ガス受入所

習志野市の受入所は袖ヶ浦・東習志野！
東習志野は受入れと供給をこなす二刀流！



袖ヶ浦受入所

受入所の役割

市営ガスは、外国産の液化天然ガスと千葉県産の天然ガスを3社のガス会社から購入しています。購入したガスは、袖ヶ浦受入所と東習志野供給所で受入れを行っており、受入量を調整し各供給所に設置されているガスホルダーにガスを送っているのが受入所の役割です。



天然ガスとは

天然ガスは大部分がメタンできているガスです。燃やしたときに出る二酸化炭素(CO₂)の量は、石油や石炭など他の化石燃料に比べて少なく、光化学スモッグや酸性雨の原因となる化学物質も少ないのが特徴です。天然ガスは環境にやさしいクリーンなエネルギーです。



袖ヶ浦受入所 受入設備



天然ガスとプロパンガスの違い

プロパンガスは、液化石油ガスやLPガスと呼ばれるものです。特徴としては、発熱量が天然ガスの約2倍であることやガスが漏れた際に溜まる場所に違いがあります。天然ガスは空気より軽いいため天井にとどまりますが、プロパンガスは空気より重いため床にとどまります。

